

安心して YouTube を 利用しよう:

保護者向け管理機能ガイド

Be
Internet
Awesome.

 parentzone
The experts in digital family life

National
PTA
everychild.onevoice.



JESSICA PIOTROWSKI,
PHD & DIRECTOR OF
CENTER FOR RESEARCH ON
CHILDREN, ADOLESCENTS,
AND THE MEDIA

ELLEN SELKIE,
MD, MPH,
PEDIATRICIAN

目次

- | | | | |
|---|-------------------------|----|----------------|
| 3 | 保護者向け管理機能とは | 8 | やさしくすることはカッコいい |
| 4 | 動画の探求はここからはじめましょう | 8 | 利用時間のコントロール |
| 4 | YouTube コミュニティガイドライン | 10 | 個人情報を守る |
| 5 | 疑問点があれば話し合う | 10 | 共有は慎重に |
| 7 | 偽物にだまされない | 11 | 用語集 |
| 7 | 広告が時々表示されるのは悪いことではありません | | |

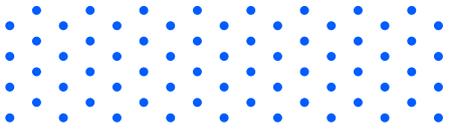
凡例

 = ハイライト表示された語句の意味は用語集でご確認いただけます。

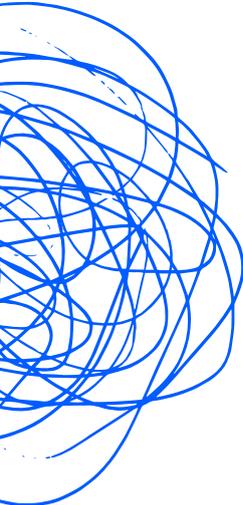
保護者向け管理機能とは

YouTube の幅広い動画を視聴してもよ
いと保護者の方が判断された場合に、
保護者の管理の下でお楽しみいただけ
ます。管理機能では、9 歳以上のお子様
を対象としたコンテンツ設定、機能の制
限、健全なデジタル習慣を作るための
機能が含まれています。

詳しくは youtube.com/myfamily をご覧ください。



動画の探求はここからはじめましょう



オンライン動画を通じて世界を探索することで、お子様は自分の興味や関心を追求し、さまざまなものの見方を学び、帰属意識を育むことができます。また、DIYのチュートリアル、音楽、学び、ゲーム、ショーなど、世界中のクリエイターによるさまざまな動画を楽しむこともできます。お子様がオンラインの世界で良い体験をできるように、オンラインのルールを学び、どのような状況になったら助けを求めるべきか判断できるように、保護者の方が手を貸すことが大切です。

お子様が成長するにつれて興味の対象も広がり、自立して、学びや創造の新たな方法を見つけようとしています。しかしデジタル世界でそうした自立心が高まると、保護者にとっては不安の種になる可能性があります。そこでYouTubeとしては、保護者の管理下でお子様はYouTubeを安心して安全に利用できるよう、お子様と一緒に必要なスキルを習得していただきたいと考えています。YouTubeはPTA、Parent Zone、Net Safetyの協力のもと、お子様が管理対象のアカウントでYouTubeにアクセスする前に、保護者の方がお子様と一緒に確認できる本ガイドを作成しました。このガイドを、責任を持って動画コンテンツを探して視聴する方法をお子様学ぶための出発点としてお役立てください。ただし、お子様の視聴状況の確認とお子様との対話は継続的に行ってください。

YouTube コミュニティガイドライン: 有害なコンテンツからコミュニティを守る手段

YouTubeの[コミュニティガイドライン](#)は、コミュニティを保護するために、YouTube全体で投稿が認められるコンテンツと認められないコンテンツを定めています(保護者向け管理機能のみに限定した内容ではありません)。このガイドラインは、動画、リンク、**サムネイル**など、YouTube上のあらゆる種類のコンテンツに適用されます。また、スパムや虚偽情報を伝えるコンテンツ、子どもの安全、ヘイトスピーチや嫌がらせ、暴力的なコンテンツ、危険なコンテンツなどについても規定しています。[YouTubeの取り組み](#)の詳細をご覧ください。

YouTubeは**機械学習**システムと人間による審査を併用して有害なコンテンツの検出と削除を行っています。完全ではないため不適切なコンテンツが混入する場合があります。コミュニティガイドラインに違反していると思われるコンテンツを見つけた場合は、動画の下のその他メニューにある**報告**機能を使用してご報告ください。YouTubeのモデレーターが審査いたします。ご報告いただくことによって、YouTubeがどなたにとってもより良い場所になります。



保護者のための管理機能を使うことで、お子様がYouTubeの様々なコンテンツを視聴して良いと判断された場合、まず、安全に利用するための注意点をお子様と話し合うことをおすすめします。利用を開始するお子様との話し合いのためのアイデアをいくつかご紹介します。

疑問点があれば話し合う

保護者によって子育てのスタイルは千差万別です。また、お子様の個性や発達段階もひとり一人異なります。そのため、保護者による管理機能で、お子様に合わせて「小学3年生以上の子ども向け」、「より多くの動画」、「YouTubeの大部分」の3段階のコンテンツ設定から選択できるようにしました。

通常、これらの設定は年齢に基づいたコンテンツのレーティングに沿っており、vlog(動画ブログ)、チュートリアル、ゲーム動画、ミュージックビデオ、ニュース、教育コンテンツ、DIY、アート、工作、ダンスなど、視聴できるYouTube動画のトピックスやジャンルは上の年齢向けの設定になるにつれて拡大していきます。また、性に関する内容、暴力やデリケートな話題(ボディイメージ、メンタルヘルス、過去の自傷行為の体験談)など、成熟した視聴者向けの動画にも段階的にアクセスできるようになります。これらは、YouTube全体のコミュニティガイドラインと並んで適用されます。

YouTubeは適切な体験を作り出すよう努めていますが、システムは完全ではなく、誤りが発生する場合があります。「小学3年生以上の子ども向け」、「より多くの動画」、「YouTubeの大部分」のいずれを選択しても、場合によっては不適切な動画または気分を害する動画が表示される可能性があります。お子様がどのような動画を視聴しているのか、または視聴時にどう感じたかを定期的に確認することをおすすめします。

話し合いのヒントと手段:

- 動画コンテンツに関するルールや約束について家族で話し合い、お子様がYouTubeを視聴できる時間と場所に関して、家族で約束事を決めます。
- YouTubeで視聴すべきでないコンテンツの種類を明確に説明し、視聴禁止コンテンツが表示された場合には視聴しない、非表示にする、保護者に相談するなどの行動プランを決めます。
- 動画を見て不快、危険、不安に感じたときに、自分の感情を理解して対処できる方法があることをお子様に伝えましょう。親や友人、兄や姉、先生など信頼できる人に話すようにすすめてください。その方が、ひとりで抱え込むよりもはるかに良いことです。
- お子様に次のようなこと聞くのも良いでしょう。動画を見ていて、怖くなったり、衝撃を受けたり、疲れたり、落ち込んだりしたことはないか。もしそのようなことがあった場合、しばらく他のことをしようと思ったことがあるか。元気を取り戻すためにどんなことをするか。助けてほしいことはあるか。どんな動画で、気持ちが明るくなったり、楽しくなったり、感心したりするか。「このようなことをぜひ話してほしい」と伝えましょう。



**悪意を帯びた動画を他の人
に送って拡散しないように
お子様に教えましょう。**



偽物にだまされない



情報パネル

動画に写っている人や場面が本物とは限らないということをお子様に理解してもらうことが重要です。お子様がオンラインで動画を視聴したり、インターネット上で時間を過ごしたりするときに、何が本物で何が偽物であるかを見分ける能力を身に付ける必要があります。

話し合いのヒントと手段:

- インターネットで動画を見る際に常に問題がないか分析しながら見て考え、自分の直感を信じるよう、お子様に促します。話がうますぎる、または現実的ではないと感じたら、おそらくその通りです。
- 時事問題、歴史上の人物、その他の人気トピックについて学ぶ際は、信頼できる情報源を探そう、お子様に教えます。動画の下のパネルに、特定の動画や検索結果についてより詳しい情報を提供する、信頼できる情報源からの情報が表示されることもあります。
- 不審な URL、ロゴ、名前、大げさなタイトルに注意するようにお子様に伝えます。こういったものの中には「**クリックベイト**」と呼ばれるものがあります。
- 正しくないと思われるコンテンツや、他の信頼できる情報源の情報と食い違うコンテンツを見つけた場合は、保護者や大人に相談するように促します。
- 危険と思われるスタント、いたずら、チャレンジが含まれる動画は、多くの場合、動画を安全に撮影するための専門的なチームにより制作されています。こうした動画は、多くの専門家が何度も撮り直し、さらに編集作業も施して作成しています。要するに「家ではこれをやってはいけません」という意味です。非常に危険な可能性があるからです。

広告が時々表示されるのは悪いことではありません

YouTube で生計を立てているクリエイターもいます。多くの人気チャンネルは、動画制作に携わる人々のチームによって運営されています。スポンサーシップ、広告、パートナーシップは、クリエイターが YouTube 向けの優れたコンテンツを作成する資金を得る手段の一つです。クリエイターが、何かを宣伝をする代償として商品やサービスを受け取っている可能性があることをお子様に理解させることは重要です。また、有料プロダクト プレースメントや有料おすすめ情報が含まれる動画とそうでない動画を区別できるようにすることも大切です。[有料プロモーション](#)を含むすべてのコンテンツには、開示情報が表示されます。

話し合いのヒントと手段:

- 動画に含まれる有料プロモーションについてお子様に説明し、有料プロモーションであることを示す動画内の表記を確認するよう教えます。[この短い動画](#)を視聴して、視聴したコンテンツに有料プロモーションが含まれているかどうかをお子様に聞いてみます。
- お子様のお気に入りのクリエイターについて話し、多くのクリエイターは職業として YouTube 向けのコンテンツを制作していること、チャンネルをビジネスとして運営していることを説明します。つまり、チャンネルの活動資金を得るために、他の企業やパートナーと提携していることもあります。
- 「スポンサー」、「提供」、「広告」などの語句を探してみます。これらの表記は、企業が製品を宣伝するためにクリエイターにお金を払っていることを示します。

やさしくすることはカッコいい

わくわくするオンライン動画のメッセージはすぐに広がっていきます。こうした動画を通じて子どもが新しいダンスを習ったり、重要な考え方を知ったりすることはすばらしいことです。しかし、ネガティブなメッセージもあつという間に広まる可能性があります。視聴する動画に登場する人々が、自分が扱われたいと思うように他の人を扱っているかどうか考えてみるよう、お子様にすすめましょう。また、お子様が視聴しているコンテンツについて、なぜそのコンテンツを選んだのか話し合みましょう。

話し合いのヒントと手段:

- 悪意を帯びた動画を他の人に送って拡散しないようお子様に教えましょう。
- 差別的な動画、嫌がらせを含む動画、不適切な動画を報告する方法を説明しましょう。また、動画の下にあるその他メニューで「興味なし」をクリックすると、動画やチャンネルが非表示になり、今後おすすめとして表示されなくなります。
- 人の気分を害したり、不快感を与えたりするようなトピックを取り上げるクリエイターを見たら、信頼できる大人に相談するようお子様に伝えましょう。
- 他者に良い影響を与えたり、いじめ行為をやめさせようとしたりする YouTube クリエイターやチャンネルについて話し合みましょう。

利用時間のコントロール

「デジタル ウェルビーイング」とは、テクノロジーが精神的、身体的、社会的、感情的な健康に悪影響を及ぼさないように注意しながら使用することです。もちろん、これはお子様の使用にも重要なことです。Google は、デバイス、メディア、アプリにとどまらず、テクノロジーを超えて幅広くウェルビーイングに取り組んでいます。もちろん、個人によって違いがありますが、Google のツールを使って管理ツールをカスタマイズすることで、健康的にテクノロジーを利用する助けになります。

話し合いのヒントと手段:

- デジタル機器の利用に関する家族の基本ルールについて話し合い、目標を定め、利用時間に気を配るようお子様に伝えましょう。保護者による管理機能を使用すると、YouTube の休憩の通知とおやすみ時間の通知が自動的にオンになります。
- ダンス、ヨガ、武道など体を動かす動画を見るようお子様に勧めましょう。また、オンラインで過ごしている最中にストレッチ休憩を取ることも伝えましょう。
- 1 週間に YouTube に費やす最大時間を決め、[視聴時間プロフィール](#)を見てオンラインで過ごしすぎているか確認しましょう。
- [通知の消音時間](#)をオンにして、設定した時間の間、アプリの通知音とバイブレーションを停止します。
- [通知のダイジェスト配信を設定](#)して、1 日のすべての通知を 1 回にまとめて受信します。
- YouTube の保護者向け管理機能では、自動再生が自動的にオフになります。次の動画を自動再生しないメリットを家族で話し合うことをおすすめします。自動再生をオンにしたいのは、具体的にどんなときですか (ヒント: 音楽のプレイリスト)。



**動画コンテンツに関する
ルールや約束について家
族で話し合い**



個人情報を守る

個人のプライバシーと安全が重要であることは、オンラインでもオフラインでも変わりません。YouTube での子どものアクティビティは非公開であり（お子様のアカウントで保護者がログインした場合を除く）、以前に視聴した動画について知らせる、好みに合ったおすすめ動画を表示する、検索結果の関連性を高めるなど、YouTube の使いやすさを向上させる目的にのみ使用されます。

話し合いのヒントと手段:

- 再生履歴や検索履歴の一時停止、削除、表示を行うための [ツール](#) についてお子様に教えます。
- アカウントを作成するときは、安全なパスワードを設定するよう手を貸します。
 - 覚えやすいパスワードにします。ただし、名前や誕生日などの個人情報は使用しないようにします。
 - 大文字、小文字、記号、数字を組み合わせます。
 - 文字を記号や数字に置き換えます（a を @、S を \$、o を 0 に置き換えるなど）。
 - 複数のサイトで同じパスワードを使い回さないようにします。

共有は慎重に

オンライン動画はすばやく簡単に共有できるため、子どもは気持ちの赴くままに動画を共有して、いつのまにかやっかいな状況に巻き込まれることがあります。お子様が管理対象のアカウントを使用している場合、動画制作ツールを使用することはできますが、制作した動画は非公開にロックされるため、YouTube 上で公開動画にはなりません。ただし、制作した動画を自分のデバイスにダウンロードしたり、YouTube で視聴した動画の URL をコピーして、YouTube 以外の場所（ソーシャルメディア、テキスト メッセージ、メールなど）で共有したりすることは可能です。

話し合いのヒントと手段:

- 動画は対面でのコミュニケーションと同じと考えます。相手に向かって言うべきでないことは、他人と共有すべきではありません。
- 家族で共有の方針について話し合います。共有を許可しますか？どのアプリで共有しますか？誰に共有することを許可しますか？
- 差別的な動画や有害な動画を共有することは、そうした動画を制作するのと同じくらい悪い行為となり得ます。悪意がある動画や真実ではない動画を共有することでネットいじめの加害者にならないよう、特に注意してください。

用語集

クリックベイト:

パブリッシャーが意図的に誇大な見出しや誤解を招く見出しを投稿してユーザーにクリックさせ、自身のホームページや動画に誘導すること。

陰謀説:

ある出来事にグループや個人が関与しているとする、根拠のない説明のこと。多くの場合、対象グループに向けた嫌がらせや嫌悪をあおる目的で使用されます。

フィルタバブル:

ユーザーの過去のインターネット検索履歴や操作に基づいてコンテンツがおすすめされ、次第に自身とは異なる視点や関心から隔離されてしまうこと。長期的には、複雑なトピックや出来事に対する理解が制限されてしまい、異なるグループ間での共感や対話が希薄になります。

報告:

YouTube 動画の下にある旗のアイコンをクリックすると、動画を報告して YouTube のモデレーターに審査してもらうことができます。モデレーターは動画を YouTube のコミュニティ ガイドラインと照らし合わせて、YouTube プラットフォームに適しているかどうかを判断します。

非表示:

今後表示してほしくない動画が表示された場合は、動画の下にあるその他メニューで [興味なし] をクリックして非表示にできます。非表示にした動画はその後おすすめされなくなります。

サムネイル:

各動画の小さい画像プレビュー。サムネイルによって、YouTube でブラウジングするユーザーは動画の内容が一目でわかります。

機械学習:

大量のデータや情報を処理して、今後の方針やおすすめを改善します。

制作協力

Be
Internet
Awesome.

parentzone
The experts in digital family life

National
PTA
everychild.onevoice.



JESSICA PIOTROWSKI,
PHD & DIRECTOR OF
CENTER FOR RESEARCH ON
CHILDREN, ADOLESCENTS,
AND THE MEDIA

ELLEN SELKIE,
MD, MPH,
PEDIATRICIAN